



### 物質的？それとも精神的？

風薫る5月はもうすぐ。今年はなんと10連休。職場や学校の新しい環境に、せっかく身も心も慣れてきたのにこれでまたリセット？と心配しているのは、私(わたくし)だけではないかもしれません。とは言っても、やっぱりお休みはうれしいもの。しっかり計画をして準備はバッチリという方もおられることでしょう。GW時期のニュースの定番は、空港での取材風景。「～△○日間」と答えているどの顔も、得意そう(自慢そう)に見えるのは、私がひねくれているから…？

先日、子供たちと教室で雑談をしているときにGWの話になりました。その時の印象としては、特に一大イベントとして思っているわけでもなく、ごく普通に冷静にとらえている感がありました。つまり『スネ夫』ような子もいなければ、それをうらやむ『のび太』のような子もいないということ。変なたとえですけどね。

子供って普通は、『物質的な豊かさ=幸せである』と思っているイメージがあります。実際自分がそうでしたから。今よりも物欲が強かったですから。でも四箇郷の子供達には、そんな雰囲気あまり感じられません。子供目線で話していてもそう思うのです。つまりそれは、お家の方々が『物質的』よりも、『精神的な豊かさ』を大切にしている表れだと言えれば考えすぎでしょうか。

10日間と騒いでいるは一部のマスコミや人たちだけで、実際にはけっこう仕事や用事がある方も多いことでしょう。何かをしなければ世間に取り残されるというような強迫観念にかられずに、地に足付けて過ごそうじゃありませんか。充実したか否かは、金額で決まるものではありません。

(P.S. 空港で疲れ果てた顔で帰ってきて、インタビューに答えているニュースを見て、喜んでいる自分はやっぱりひねくれ者？)



本日、お子様を通してお配りした冊子がこれです。県教育委員会からいただいたものです。

4月から期待と緊張で過ごしてきた疲れが出るかもしれません。実際、GW明けや夏休みが終わりに近づいた頃に、不安定になる子供が多いとも聞いたことがあります。

親子の関係を構築していくのは本当に難しいものです。ひな形も公式もありません。いざというときのために(そんなことは起こってほしくありませんが)、この冊子に目を通し、今後の家庭教育の参考にしていただければ幸いです。